

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

学校名	神崎市立神埼小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	様々な課題解決や教育活動推進に向けて、それぞれの担当を中心に組織で進めることができ、重点目標については概ね達成できた。これまでの取組を継続しつつ、今後次の視点をもって取組を進めていく。 ・共通理解・共通実践により教職員の指導力向上を図ると共に、児童が落ち着いて生活や学習に取り組むことができるようにする。 ・児童の学ぶ目的意識の向上につながるような授業改善、校内研究に継続して取り組む。 ・GIGAスクール構想を念頭に、タブレットを全学年が計画的に活用し、学力向上を目指す。
------------------	--

2 学校教育目標	『体を強く 心賢しく 学び合う せんだんの子』の育成
----------	----------------------------

3 本年度の重点目標	① 落ち着いた学習態度を育成し、友達と関わり合いながら確かな学びの定着を目指す。 ② 基本的な生活習慣を身につけさせ、健康で明るい生活態度を養う。 ③ 自己肯定感を高め、自分も友達も大切にすることのできる児童の育成を図る。 ④ 業務の効率化を図りつつ、教員の資質の向上を目指す。
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
● 学力の向上	○ 学習指導における、全職員による共通理解と共通実践。 ○ 児童同士の間わりで学びを深める授業づくりの推進。	○ 学力向上対策評価シートに示した成果指標と共通指導事項「神スタイル」への取組を達成した教師90%以上。 ○ 百マス計算について各学年が設定した目標の達成。 ○ 「授業で、自分の考えを書いたり友達と伝え合ったりすることができますか」に肯定的な回答をする児童の割合80%以上。	・教職員間でマイプランを共有し、毎学期共通実践を再確認すると共に、成果指標の振り返りを行う。 ・百マス計算の方法を共通理解し、発達段階、児童の実態をもとに各学年で目標や達成率を設定する。 ・「授業づくりのステップ1・2・3」を活用し観点に沿った「話し合う活動」を設定した授業づくりを推進し、年間を通して、校内研究等で取組を紹介する。 ・各教科等において「話し合う活動」の場を設定する。							【まなび部】 ・学力向上対策コーディネーター ・研究主任
	● 心の教育	● 児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○ 道徳や人権に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童85%以上	・ふれあい道徳や人権に関する取り組みについて保護者や地域に情報を発信する。 ・平和集会及び人権集会の実施						
● いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実		○ 「いじめや不登校など、子どものサインを見逃さず、子どもの心情に寄り添う指導を行っている」と回答した教職員95%以上	・年6回の「今の気持ちアンケート」の実施 ・月1回の生徒指導協議会の実施 ・年2回(5月期、10月期)の担任教員と児童個々の「お話し合い」の設定							【こころ部】 ・教育相談担当 ・教頭
● ◎ 児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。		● 「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ● ◎ 「将来の夢や目標を持っている」として肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・教師が、児童のがんばりを見つけ、称賛・承認する機会をもつことを通じて、児童の自己肯定感を高める。 ・キャリアパスポートを活用して学期の目標を立てさせる。学期の終わりには振り返りをし、次の学期につなげる。							【こころ部】 ・生徒指導担当
● 健康・体づくり	○ 高学年児童のリーダーシップを育てると共に、下級生の上級生へ憧れる気持ちを育て、「お互いを高め合う集団」としての集団力を高める縦割り班活動	○ 縦割り活動の振り返りにおいて肯定的な回答をした児童85%以上。	・縦割り掃除の実施(週2回) ・縦割り遊び(月1回)の実施							【こころ部】 ・縦割り班活動担当
	● 望ましい生活習慣の形成	● 早寝、早起き、朝ご飯の徹底 ○ 健康に良い食事をしていないと回答する児童90%以上。 ○ 登校時や給食前後などの石けん手洗いの徹底 ○ 給食準備中のマスク着用徹底 ○ 習い事がない日は、9時から10時までには寝ると回答する児童90%以上。	・毎日の健康観察での調査や声かけの徹底。 ・手洗いについては随時声かけをする。 ・保健便り、学級通信などで規則正しい生活習慣の重要性やゲームの使用時間の管理を啓発する。							【すこやか部】 ・体力づくり担当 ・健康指導担当 ・養護教諭
● 業務改善・教職員の働き方改革の推進	○ 安全に関する資質・能力の育成	○ 運動場で安全に遊ぶことができた」と回答する児童90%以上。 ○ 自転車のヘルメット着用率90%以上	・月に1度ヘルメット着用、防犯ブザー所持の状況を調査し学校便り等で保護者への啓発を図る。 ・遊具での正しい遊び方、教室等での安全な過ごし方の継続指導							【すこやか部】 ・安全教育担当 ・教務
	● 業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	● 教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・業務の精選やICT活用の推進を行い、学級事務の時間を確保する。 ・定時退勤日を設定し確実に実行する。 ・毎月の業務記録をフィードバックし、個人の業務改善への意識を高める。							・教頭 ・各部長
● 特別支援教育の充実	○ 教職員の自らの働き方の改革と心身の健康の保持への意識の向上	○ 「働き方改革を意識し、心身の健康の保持に努めている」と回答した教職員が85%	・メンタルヘルスに関する情報の提供 ・働き方改革や健康保持に関する研修会の実施							・教頭 ・各部長
	○ 教員の専門性と意識の向上	○ 特別支援に関する専門性と意識が向上したと回答する教員80%以上。 ○ 通常学級と特別支援学級で連携した交流及び共同学習の実施。	・障害理解や合理的配慮の工夫に関する研修会を行い、専門性の向上を図る。 ・児童の特性に応じた交流及び共同学習の実践を行う。							・特別支援教育コーディネーター

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○ 特別支援教育の視点に立つ学級づくり	○ 個々の特性に応じた指導・支援の充実	○ 毎月の子ども支援会議の実施 ○ 保護者アンケートにより「学校は子どもの良さがいかされる学級づくりに努めている」との回答90%以上	・子ども支援会議にて配慮を要する児童の状況について共通理解を図り、組織対応を充実させる。 ・専門性向上を目指した職員研修の実施。 ・学校だよりや集会を通して、児童や保護者への啓発活動を行う。							・特別支援教育コーディネーター ・教育相談担当
	○ 主体的な学びに向けたICT活用	○ 教職員・児童のICT活用能力の向上 ○ 情報モラル教育の充実	○ 「1人1台タブレットを週3回以上使用した」と回答する教職員・児童80%以上。 ○ 学年に応じた情報モラル教育やプログラミング教育の授業を実践した学級100%	・プログラミングに関する教材の共通理解。 ・タブレット活用に関する研修会の実施。 ・学年に応じた情報モラル教育の実践。						・情報教育推進リーダー ・教務

5 総合評価・次年度への展望	●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ・ ・ ・
----------------	---------------------------------------